

## みんなでつくる ひょうごの福祉

地域で支え合い、地域を元気にする  
取り組みを紹介します。



とよおかオープンガーデンショーのメンバーを中心に、東北の被災地に木製プランターの寄せ植えを贈る活動をしているよ。長い年月をかけて自然界に復帰した天然記念物コウノトリと、被災地の住民が失意の中から立ち上がろうとされている姿を重ね合わせて「コウノトリの箱庭」と名付けられたんだって。

### 但馬からの思いをかたちに

昨年5月から6月にかけて豊岡市日高町を中心に開催された「第10回とよおかオープンガーデンショー」は、毎年、各地から大勢の人が訪れる豊岡市の一大イベントだ。オープンガーデンショー実行委員会の代表を務める北井進さんは、東日本大震災の直後という事もあり、中止も考えたという。

しかし、北井さんは、地震発生以来、毎日流れてくるテレビの映像に衝撃を受け、「私たちにできることが何かないか」と考え、「ガーデンショーの開催を通じて、木製プランターの寄せ植えを被災地に贈れば、少しでも心が安らぎ喜ばれるのではないか」と思いついた。

### コウノトリがつなぐ 但馬と被災地

ガーデンショーの開催と同時に、参加団体が展示する各ガーデンに「コウノトリの箱庭」と名付けた寄せ植えのサンプルを設置し、募金を集めた。また、地元の方々に箱庭を購入していただき、それらの資金を

～兵庫・但馬国から被災地へ～

## 「コウノトリの箱庭」運動



コウノトリのイラストは北井さんのデザイン



8月宮城県岩沼市災害ボランティアセンターへ寄贈

もとに、箱の制作や色塗り、イラスト、文字書き、植栽など呼びかけ団体の人々の手により準備が進められた。

但馬の人々の思いが表現された「コウノトリの箱庭」は、昨年6月に宮城県東松島市へ兵庫県からのボランティアの手で、また、8月には岩沼市へと各10箱が届けられた。

後日、岩沼市の仮設住宅の方から「自分で寄せ植えしたい」という要望が届き、10月に希望者24世帯に贈られた。そのお礼として、「コウノトリの箱庭」からの「生きる力」がありがとうございます」などのメッセージや写真が届いた。さらに、日吉老人会、手芸部から手編みの品々が贈られた

### 取材を終えて

普段から地元を愛し、公共地などをきれいにする活動をしてきた住民ならではの活動です。地域活動を通じた日ごろのつながりがあってこそ、こうした時に力を発揮できるものなのですね。北井さんは、「但馬のイチロー」というブログで、箱庭運動のほか、地域づくり活動を日々発信されています。今後の活動報告に注目しましょう。

### 「コウノトリの箱庭」運動本部

代表：北井 進 ☎090-4569-9573 豊岡市日高町日吉113

呼びかけ人(団体):日高町花と緑の協会、  
とよおかオープンガーデンショー実行委員会、  
マロニエの森クラフトグループ、まちかど発信局

<http://blogs.yahoo.co.jp/machikadotajima/47781.html>

り、営農組合と製菓会社から、神鍋絆餅が寄贈されるなど、但馬発の活動はますます広がっている。  
北井さんは、「今後は、被災地の人々と四季を通じて心の交流をするなど、無理のない支援をしていきたい」と話している。遠く離れた被災者の暮らしに思いを寄せ、できることを少しずつ持ち寄った住民発の運動が花開いている。